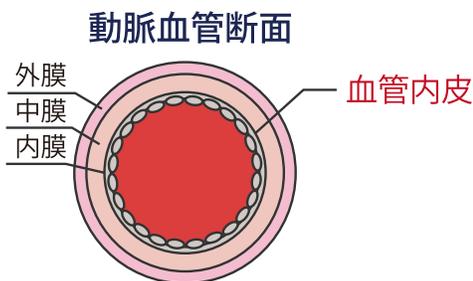


# 血管内皮機能検査FMD

10分ほどで血管の元気度を診ます。  
お気軽にどうぞ!



## 血管内皮とは



血管内皮は、血管の内側を覆っている1層の細胞です。

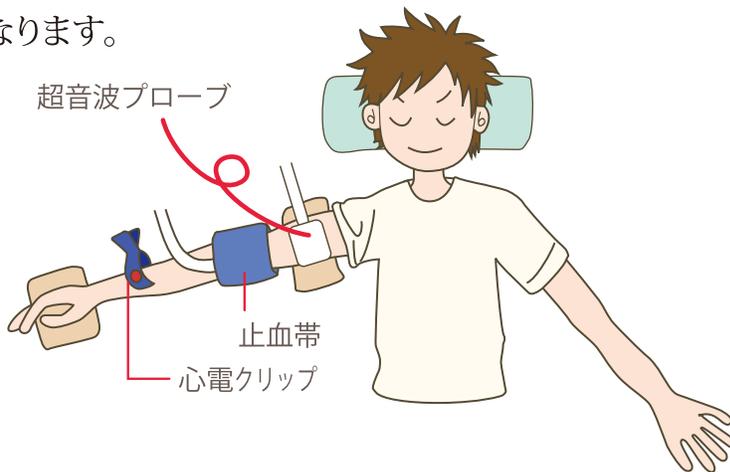
この血管内皮細胞からは血管をしなやかに保つ物質が放出されています。この機能が衰えると動脈硬化の進展が進むと言われています。

さらに動脈硬化が進むと心筋梗塞、脳梗塞へとつながります。

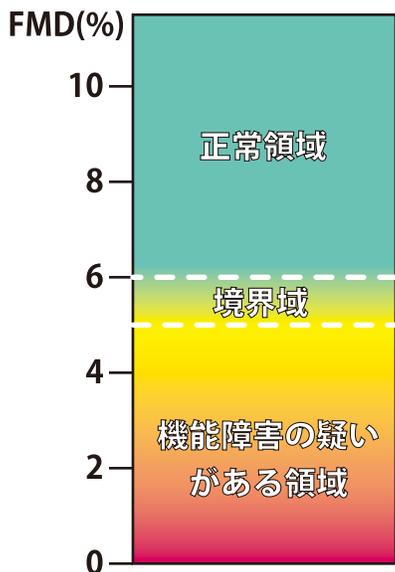
## FMD検査とは

FMDとは、Flow Mediated Dilationの略で、日本語で血流依存性血管拡張反応といいます。FMD検査は腕を圧迫、開放後にどれだけ動脈が拡張するかを超音波エコーでみる検査です。血管内皮機能が低下していると広がりが悪くなります。

止血後に血流を再開させると、血流の刺激で、血管内皮細胞がしなやか物質を放出します。そのしなやか物質は血管を拡張させますので、血管拡張の度合いを診ることにより、血管内皮機能が分かるのです。



## FMD値とは



健常値の目安は6%以上で、5%未満で血管内皮機能障害が疑われます。

FMD検査は、検査前の飲食内容によっても違いが出る敏感な検査です。先生のご指導に従ってください。

FMD値は年齢とともに低下する傾向がありますが、それ以上に日常の生活習慣の影響も大きく受けます。お年を召されても正常領域の方もいらっしゃいますし、逆にお若くても機能が低下されている方もいらっしゃいます。

動脈硬化の早期発見のために定期的にFMD検査を受け、健康でいきいきとした血管を保つために、適切な指導・治療を受け、生活習慣に気を配りましょう。